



第 15 回大砂土東地区社会福祉協議会総会
2019 年 5 月 21 日 (火) 開催



大砂土東地区社会福祉協議会創立 15 周年記念式典
令和元年 6 月 9 日 (日) 開催



子どもから高齢者を含む地域住民の誰もが 声をかけ合い 安心して暮らせる大砂土東地区

大砂土東地区社会福祉協議会は地域にもっとも身近な福祉活動の拠点として
さいたま市社会福祉協議会及び同見沼区事務所のご指導をいただき
地域の人たちが抱えるさまざまな福祉の問題を地域みんなの問題として話し合いながら
地域福祉の推進をはかることを目的として活動する任意団体です

創設期（平成13年さいたま市となる）

- ◎会食のつどい「つくしの会」（平成2年10月開始）
- ◎会食のつどい「アップルの会」（平成9年12月開始）
- ▼
- 「会食のつどい」を大砂土東地区社会福祉協議会が事業として引き継ぐ
- ◎敬老会事業
- ◎歳末助け合い募金
- ◎赤い羽根共同募金
- ◎日本赤十字基金
- ◎社会福祉協議会賛助会費
- ▼
- 事業として引き継ぐ

平成15年（2003年）

第1次行動計画・実施行動

- ◎地域福祉推進委員会の立ち上げ
- ◎地域福祉行動計画の策定（平成15年10月～平成16年3月）
- ◎事務所の開設（見沼区役所開設に伴い空いた大和田出張所を借り受ける）
- ◎コーディネーターの配置（平成16年11月15日初代コーディネーター山田紀子氏）
- ◎総務部・事業部・広報部の3部及び部会連絡会を会議体として設置
- ◎広報紙の発行
- ◎世代間交流事業実施（凧を作り空に上げる。大和田・東大宮）
- ◎公民館との共催事業
- ・大人のぬり絵教室（3回連続実施）
- ・そば打ち教室
- ・親子うどん教室
- ◎和い話いサロンの立ち上げ
- ◎砂団地いきいきサロンの立ち上げ

平成20年（2008年）

第2次行動計画・実施行動

- ◎地域見守り活動の推進
- ・見守りネットワーク事業構想をまとめ各自治会に見守り員の設置を依頼
- ・高崎の社会福祉協議会が見学に来る
- ・見守りネットワーク事業について講演を依頼され実施
- ◎コーディネーター2代目配置（平成22年2月1日 橋山律江氏）
- ◎第3次行動計画策定に向けて地域福祉アンケート実施
- ・高齢者・子ども・安心、安全な地域づくりをテーマに平成24年12月2日～3月にかけて実施（平成24年5月理事会にて報告）
- ◎ホームページ開設（平成21年）
- ◎各サロンの立ち上げ
- ・5丁目生き生きサロン、手工芸サロン、島町ワンコインサロン、ブルーハイワンコインサロン、凡人会、子育てにこここほろば、他
- ◎広報紙の名称「えがお」となる
- ◎世代間交流（紙ヒコーキ・割りばし鉄砲）
- ◎社協主催ターゲット・バードゴルフ大会
- ◎うんどうサロン（大砂土東公民館・東大宮コミセン・東大宮自治会館）

平成25年（2013年）

第3次行動計画・実施計画

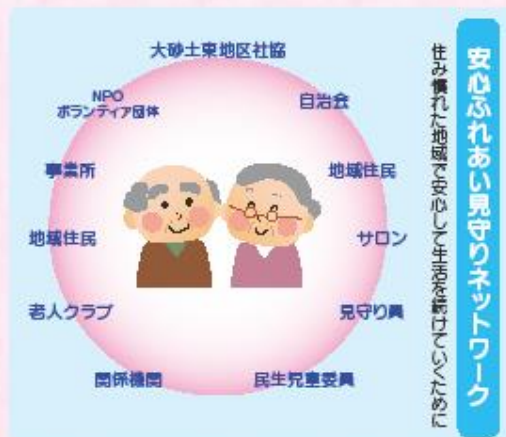
- ◎地域見守りネットワークの推進
- ・見守り講演会開催（NPO法人日本地域福祉研究所理事 菱沼幹男氏 平成25年7月）
- ・地域の各事業者に、見守り活動への協力依頼
- ・地域福祉推進委員会に於いて「見守り勉強会」実施
- ・下校時の子どもの見守り活動を大砂土東小学校をモデルケースとして開始
- ・「見守りネットワーク事業」について見沼区民協高齢者福祉部会からの依頼で講演会実施（平成27年10月）
- ・大砂土東小学校に於いて「地域の安心・ふれあいネットワーク」～子どもと高齢者を守るために～の公演を実施（平成28年6月）
- ◎広報紙「えがお」全面カラー化
- ◎世代間交流事業の推進
- ◎健康福祉講座の開催
- ・東大宮病院との共催で健康講座
- ・災害時高齢者生活支援講習会（日赤の出前講座）他
- ◎第4次行動計画策定に向けて地域福祉アンケート実施（高齢者・子ども・認知症をテーマに実施 平成29年6月）

平成30年（2018年）

第4次行動計画・実施計画

- ◎第4次行動計画の新しい柱
- ・「おたすけ隊」事業の立ち上げ（日常生活のちょっとした困り事の解決のお手伝い）
- ・認知症に対する地域の理解促進「オレンジカフェ」の充実
- ①大和田：見沼緑水苑 毎月第4水曜日 10:00～11:30
- ②東大宮：ディーフェスタ東大宮 毎月第4木曜日 14:00～15:30
- ③島・堀崎：ニチケイアセンター堀崎 毎月第2水曜日 10:00～11:30

組織の基盤整備



見守り・サロン・世代間交流・共催事業



地域の支え合いの構築



東大宮3丁目自治会

会長 齋藤 隆徳

東大宮3丁目地区は2018年末時点で1224世帯が住民登録をしています。

この地区には黒宮砂礫地自治会とブルーハイツ大宮自治会、そして東大宮3丁目自治会の3自治会が存在しており、当会が管轄する世帯数は約500世帯です。

東大宮3丁目自治会は、1978年（昭和53年）に92世帯で発足し41年が経過した現在も会員数272世帯と小さな自治会ですが、自治会内のコミュニティ形成のため様々な自治会活動を行っています。独自事業として「夏祭り」「夏まつり」主催「餅つき大会」「生花講習会」「バザー」「広報紙の発行」「シニアクラブ活動助成」など、東大宮見沼地区自治会連絡協議会との共同事業として「運動会」「敬老会式典」「防災訓練」などです。また地域の安心安全と環境整備を目的に「通学路・公園等の草刈」「防犯パトロール」や「街路灯の設置」「道路補修」など市への要請も行っていきます。

特に「道路補修」には重点を置き、スマイルロード整備事業を活用し「橋渡のL字型橋渡からU字型橋渡への変更と路面補修」を2年前（2017年）より進めています。全ての町内道路を一括申請出来れば良いのですが難解な路線が多く「申請可能2路線」を先行申請しスマイルロード整備事業に組み込まれました。

取組みは精についたばかりで、今後も役員と会員の協力を得ながら進め、住みやすい居住環境にしていきたいと思っております。



10周年を迎えました

農町ワンコインサロン代表 枝久保 なほみ

農町ワンコインサロンは、農町自治会館で第3水曜日に開催しています。

平成21年2月に、前民生委員が中心になって、大砂土東地区社会福祉協議会の指導の下、地域の方に声を掛けて12～3人のボランティアの方々に加わってもらいサロンを始めました。平成31年2月でちょうど10年が経ちました。私は平成26年頃から代表を引き継いでいますが、半分以上のボランティアが引き継ぎ活動をしており、現在は新たに加わったボランティアの方々と一緒に、12人で運営しています。いつも地域の高齢者が30～32人位参加しています。

さて2月20日の農町ワンコインサロンでは、10周年記念として、農町自治会、地区社協、シニアサポートセンター大和田と共に、サロン開設に尽力したボランティアの方もお招きしました。

当日は農町を中心に高齢者の方々35名が参加しました。いつものように健康体操で始まり、続いて関係者のご挨拶をいただいた後、大宮東警察交番の方から、高齢者が歩行時・自転車に乗る時に注意することを、「文楽〇×クイズ」しながら楽しく学び、後半はみんなでビンゴ大会と楽しい時間を過ごしました。

サロンの活動内容は、リハビリ体操・口腔体操等で健康づくり、シニアサポートセンター職員のお話を聞いて介護制度や防犯などの情報を得たり、おしゃべりや歌って声を出す等です。時には地域で活動しているボランティアグループの盛りや太鼓演奏等を楽しみます。又来月も行ってみたいなど、聲を挙げて行ってみたいなど思ってもらえるようなサロンを目指して活動しています。



多くの人々を招き、大和地区の発展を促しました

くぬくサロン 大和



五周年記念



時日のお礼

- ・大砂土東公民館のついでバザー助成金 132,601円
- ・農町餅つき大会 28,000円
- ・日蓮友会様(由任社 他) 100,000円

編集後記

令和元年の年に当地区社協も15周年を迎えることができました。6月9日に東大宮自治会館においての記念式典には、さいたま市長兼水島人氏をはじめ地元関係者多数にご出席頂き盛大に催されました。ご出席頂いた皆様、「15年のあゆみ（地域の和）」の記念誌を配布して地区社協の歩みをお伝えすることができ、表紙の巻（地域の和）を地区社協設立にご尽力頂いた榎本秀徳氏にお譲りしました。

5月21日の定期総会で2018年度事業計画・決算報告・監査報告、2019年度の事業計画・予算・役員改選について出席者全員一致で了承されました。また地区社協設立時から役員としてご尽力頂いた大河戸千鶴子氏が退任され総務役としてご協力頂くことになりました。（祝）